

令和6年8月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,700億円（対前年同月比2.0%の増加、比率ベース：2カ月連続の増加）、輸入総額は1,078億円（同6.4%の増加、2カ月連続の増加）であった。差引額は622億円（同5.0%の減少）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「原動機」、「自動車の部分品」などは減少したものの、「二輪自動車類」、「プラスチック」、「船舶類」などが増加した。

輸入は「がん具及び遊戯用具」、「事務用機器」などは減少したものの、「液化天然ガス」、「無機化合物」、「有機化合物」などが増加した。

地域別では、輸出は「アジア」が増加、「EU」、「アメリカ」が減少した。輸入は「EU」、「アメリカ」が増加、「アジア」は減少した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,700億円	+2.0%	1,078億円	+6.4%	622億円	▲5.0%
	2カ月連続の増加		2カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)二輪自動車類	112億円	+26.5%	輸入	増加品目	(1)液化天然ガス	133億円	2.0倍
		(2)プラスチック	71億円	+40.1%			(2)無機化合物	22億円	10倍
		(3)船舶類	22億円	3.7倍			(3)有機化合物	45億円	+26.3%
	減少品目	(1)原動機	177億円	▲28.5%		減少品目	(1)がん具及び遊戯用具	5億円	▲86.9%
		(2)自動車の部分品	143億円	▲12.8%			(2)事務用機器	9億円	▲59.4%
		(3)科学光学機器	155億円	▲10.0%			(3)パルプ	37億円	▲23.0%
	主要地域 増減	アジアが増加、EU、アメリカは減少				主要地域 増減	EU、アメリカが増加、アジアは減少		

（参考）ドルレートは、150.89円（前年同月比6.1%、8.66円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	8億円	▲3.9%	30億円	▲7.7%	▲22億円	▲9.1%
	3ヶ月ぶりの減少		4ヶ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 電気計測機器	90百万円	26倍	輸入	増加品目	(1) 肥料	2億円	全増		
		(2) 無機化合物	31百万円	+30.3%			(2) 無機化合物	1億円	全増		
		(3) 自動車の部分品	14百万円	+20.7%			(3) 有機化合物	5億円	+24.3%		
	減少品目	(1) 精油・香料及び化粧品類	80百万円	▲30.5%		減少品目	(1) とうもろこし	9億円	▲26.1%		
		(2) 金属鉱及びくず	2億円	▲12.2%			(2) 石炭	—	全減		
		(3) 写真用・映画用材料	3億円	▲4.7%			(3) 木材及びコルク	11億円	▲10.9%		
	主要地域 増減		EU、アジアが減少、アメリカは増加					EUが減少、アメリカ、アジアは増加			

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	362億円	+14.6%	15億円	▲42.4%	347億円	+19.6%
	5ヶ月連続の増加		3ヶ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	67億円	+76.7%	輸入	増加品目	(1) 金属製品	5百万円	21倍		
		(2) 自動車	196億円	+16.3%			(2) プラスチック	19百万円	+3.4%		
		(3) 無機化合物	11億円	+33.3%			(3) —	—	—		
	減少品目	(1) 楽器	25億円	▲21.5%		減少品目	(1) 調製石油添加剤	3億円	▲54.7%		
		(2) 原動機	7億円	▲20.1%			(2) 鉄鋼	5億円	▲41.6%		
		(3) 電気回路等の機器	50百万円	▲60.0%			(3) 木材及びコルク	2億円	▲57.3%		
	主要地域 増減		アジアが増加、EU、アメリカは減少					アジアが減少、EUは増加			

4. 静岡空港

輸出入実績なし